

II 住民基本台帳人口(日本人住民)による社会動態

1 概 要

平成 27 年の社会動態は、市外からの転入が 4 万 4,837 人、市外への転出が 4 万 3,846 人で、991 人の転入超過となりました。

これを地域別にみていくと、仙台都市圏内の他市町村及び東京圏に対して転出超過となっています。また、仙台都市圏以外の市町、東北 5 県及びその他の地方に対しては転入超過となっています。

この結果、区間移動と職権記載等の「その他増加数」を加えた社会増加数は 1,325 人となっています。

(表 2、図 6、統計表第 2、3 表)

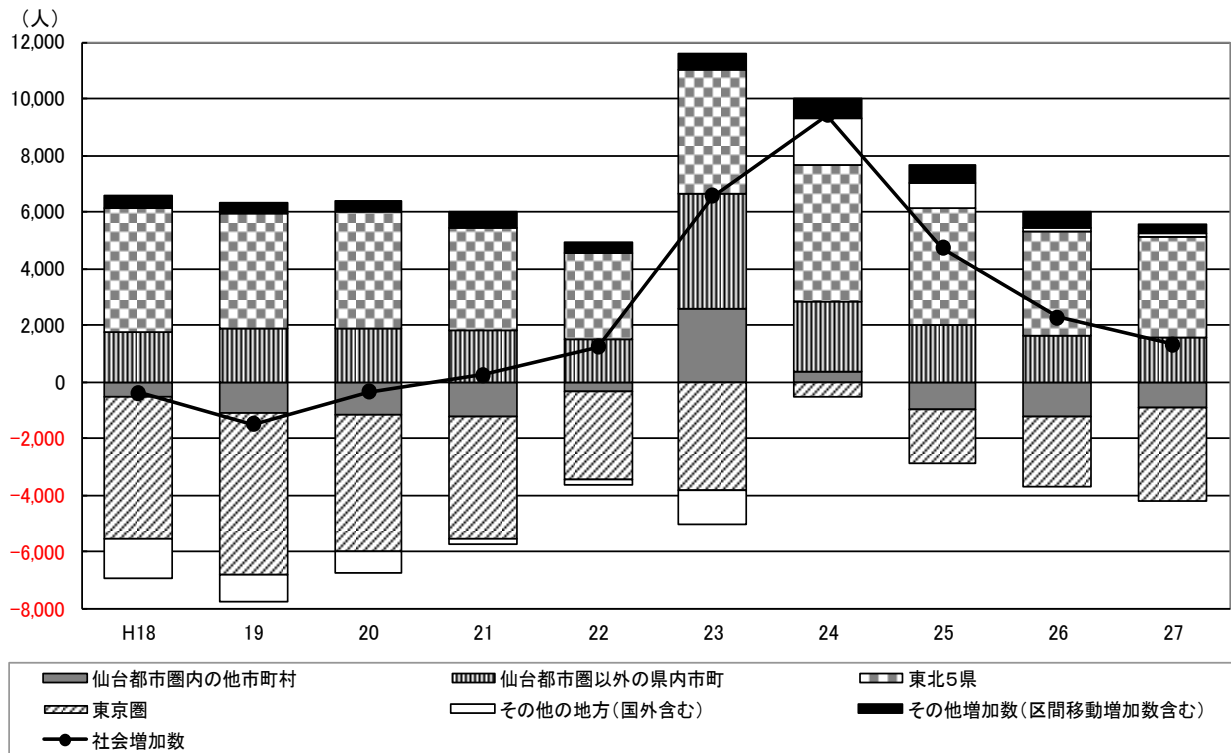
表 2 市外との移動：転入数、転出数、社会増加数の推移—全市（平成 18 年～平成 27 年）

地 域	平 成 18 年	19	20	21	22	23	24	25	26	27
転 入 数	49,112	47,874	47,128	45,295	43,976	49,914	49,547	47,035	44,802	44,837
宮城県	12,495	12,247	11,978	11,336	11,362	16,179	11,986	11,708	11,087	11,309
仙台都市圏内の他市町村	6,236	6,019	5,911	5,613	5,842	8,272	5,965	5,778	5,456	5,756
" 以外の市町	6,259	6,228	6,067	5,723	5,520	7,907	6,021	5,930	5,631	5,553
東北5県	16,317	15,460	14,821	14,051	13,048	14,237	13,963	13,525	13,044	13,231
東京圏	10,649	10,504	10,848	10,505	10,659	9,936	12,361	11,210	10,797	10,551
その他の地方（国外含む）	9,651	9,663	9,481	9,403	8,907	9,562	11,237	10,592	9,874	9,746
転 出 数	49,944	49,712	47,917	45,636	43,085	43,983	40,782	42,938	43,044	43,846
宮城県	11,272	11,522	11,287	10,783	10,201	9,519	9,176	10,693	10,682	10,689
仙台都市圏内の他市町村	6,790	7,158	7,116	6,857	6,186	5,672	5,592	6,752	6,672	6,668
" 以外の市町	4,482	4,364	4,171	3,926	4,015	3,847	3,584	3,941	4,010	4,021
東北5県	11,955	11,369	10,736	10,420	10,003	9,902	9,091	9,380	9,395	9,627
東京圏	15,654	16,195	15,627	14,798	13,780	13,796	12,925	13,147	13,279	13,890
その他の地方（国外含む）	11,063	10,626	10,267	9,635	9,101	10,766	9,590	9,718	9,688	9,640
社会増加数	△ 832	△ 1,838	△ 789	△ 341	891	5,931	8,765	4,097	1,758	991
宮城県	1,223	725	691	553	1,161	6,660	2,810	1,015	405	620
仙台都市圏内の他市町村	△ 554	△ 1,139	△ 1,205	△ 1,244	△ 344	2,600	373	△ 974	△ 1,216	△ 912
" 以外の市町	1,777	1,864	1,896	1,797	1,505	4,060	2,437	1,989	1,621	1,532
東北5県	4,362	4,091	4,085	3,631	3,045	4,335	4,872	4,145	3,649	3,604
東京圏	△ 5,005	△ 5,691	△ 4,779	△ 4,293	△ 3,121	△ 3,860	△ 564	△ 1,937	△ 2,482	△ 3,339
その他の地方（国外含む）	△ 1,412	△ 963	△ 786	△ 232	△ 194	△ 1,204	1,647	874	186	106
※参考										
その他増加数	429	338	423	582	341	609	654	631	516	334
" を含む社会増加数	△ 403	△ 1,500	△ 366	241	1,232	6,540	9,419	4,728	2,274	1,325

(△は転出超過数)

※「その他増加数」には職権記載・消除、国籍取得・喪失等のほかに、市内区間移動増減数が含まれています。

図6 転出入超過数の地域別内訳 (平成18年～27年)

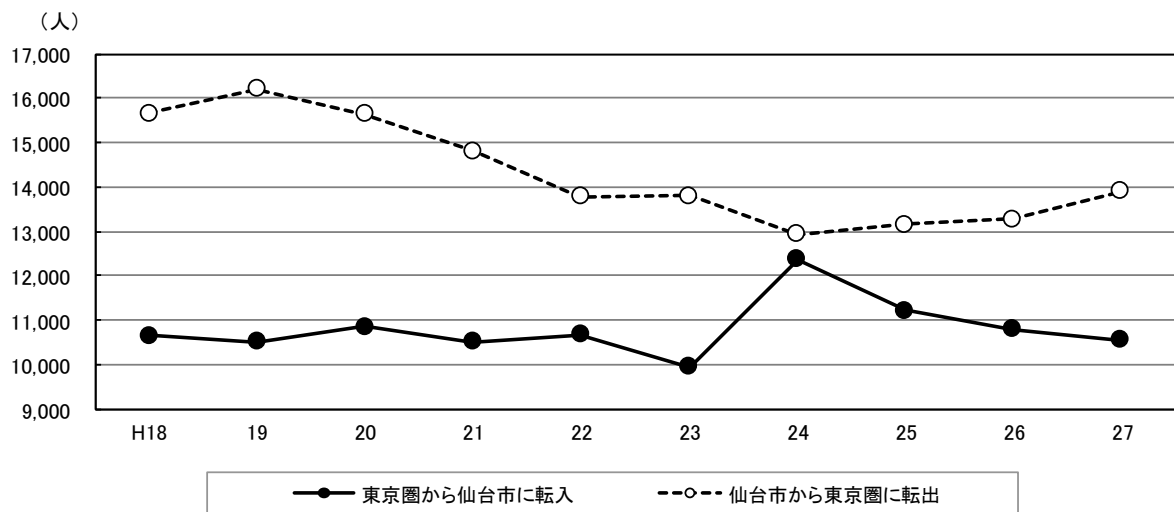


2 東京圏に対する人口移動

東京圏に対する人口移動は、転入数が1万551人、転出数が1万3,890人で、3,339人の転出超過となりました。

(表2、図6、7、統計表第2表)

図7 東京圏との転出入者数 (平成18年～27年)

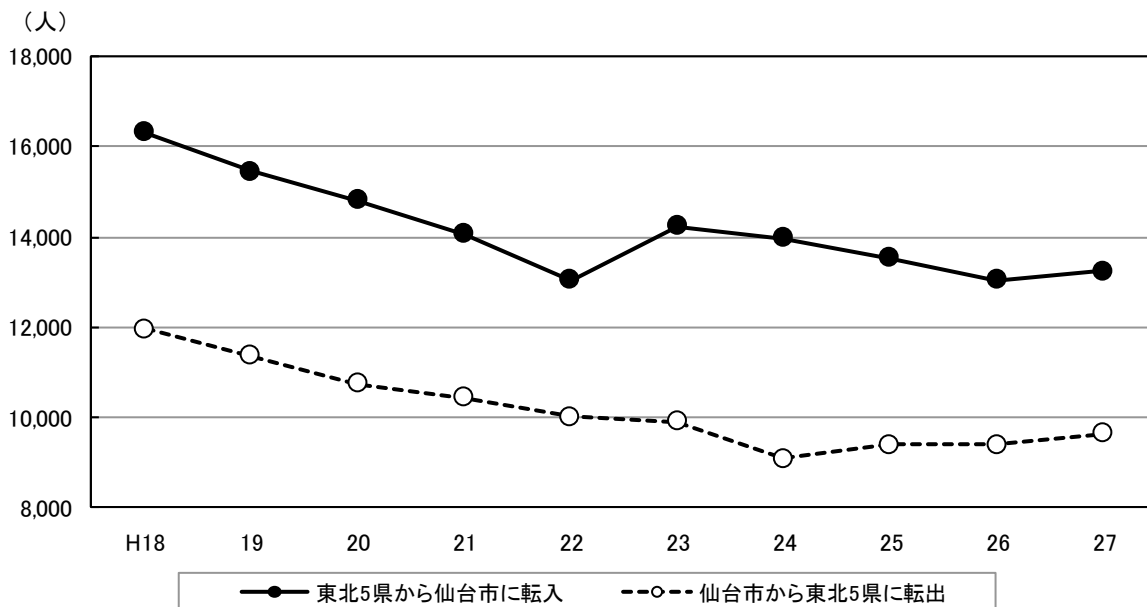


3 東北5県及びその他の地方（国外含む）に対する人口移動

東北5県に対する人口移動は、転入数が1万3,231人、転出数が9,627人で、3,604人の転入超過となりました。

(表2、図6、8、統計表第2表)

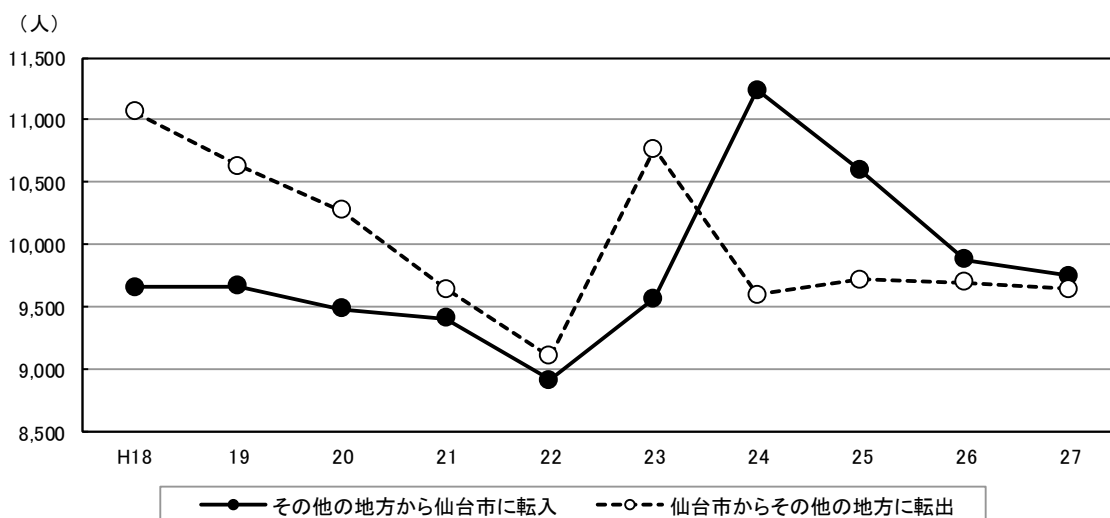
図8 東北5県との転出入者数（平成18年～27年）



その他の地方（国外含む）に対する人口移動は、転入数が9,746人、転出数が9,640人で、106人の転入超過となりました。

(表2、図6、9、統計表第2表)

図9 その他の地方との転出入者数（平成18年～27年）

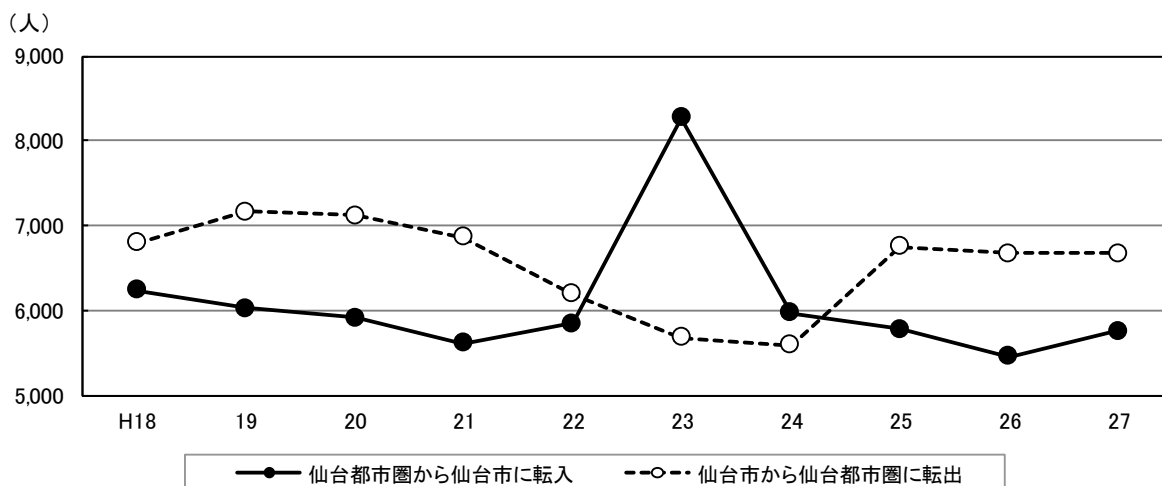


4 県内他市町村に対する人口移動

仙台都市圏内の他市町村に対する人口移動は、転入数が 5,756 人、転出数が 6,668 人で、912 人の転出超過となりました。市町村別の内訳をみると、転入超過となっているのは 7 市町村、転出超過となっているのは 6 市町村となっています。

(表 2、図 6、10、統計表第 3 表)

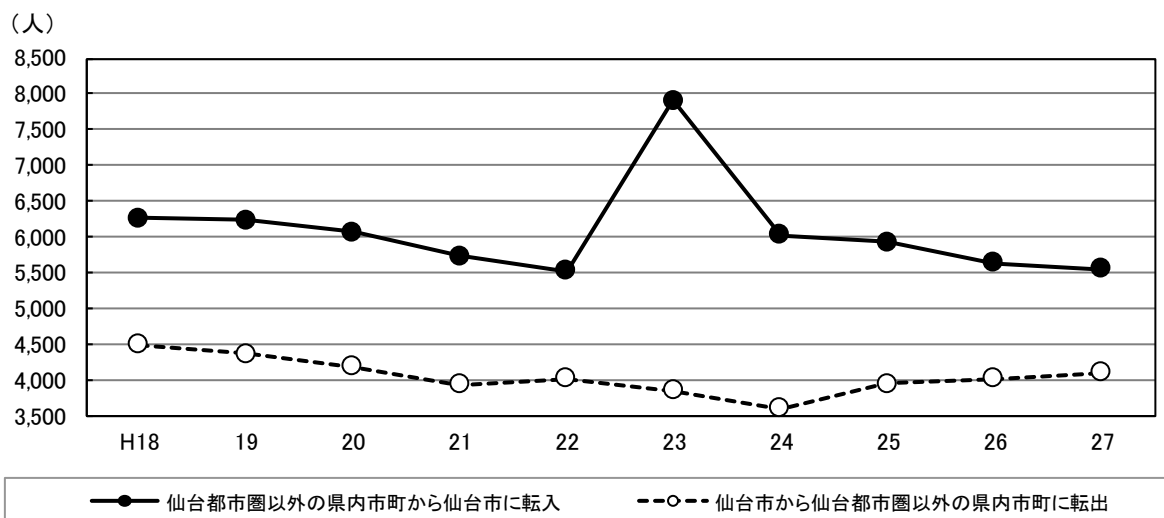
図 10 仙台都市圏との転出入者数 (平成 18 年～27 年)



仙台都市圏以外の県内市町村に対する人口移動は、転入数が 5,553 人、転出数が 4,021 人で、1,532 人の転入超過となりました。

(表 2、図 6、11、統計表第 3 表)

図 11 仙台都市圏以外の県内市町村との転出入者数 (平成 18 年～27 年)



5 区別の社会動態

平成 27 年の区別社会動態は、泉区を除く 4 区で社会増となりました。その内訳について、次のような点が特徴として挙げられます。

- ① 市内他区に対しては、若林区と太白区で転入超過。他 3 区は転出超過。
- ② 県内市町村に対しては、泉区で転出超過。他 4 区は転入超過。
- ③ 東北 5 県に対しては、全区で転入超過。
- ④ 東京圏に対しては、全区で転出超過。
- ⑤ その他の地方に対しては、青葉区と宮城野区で転出超過。他 3 区は転入超過。

(表 3、図 1 2、統計表第 4 表)

図 1 2 地域別社会増加数（転入数－転出数）－区（平成 22～27 年）

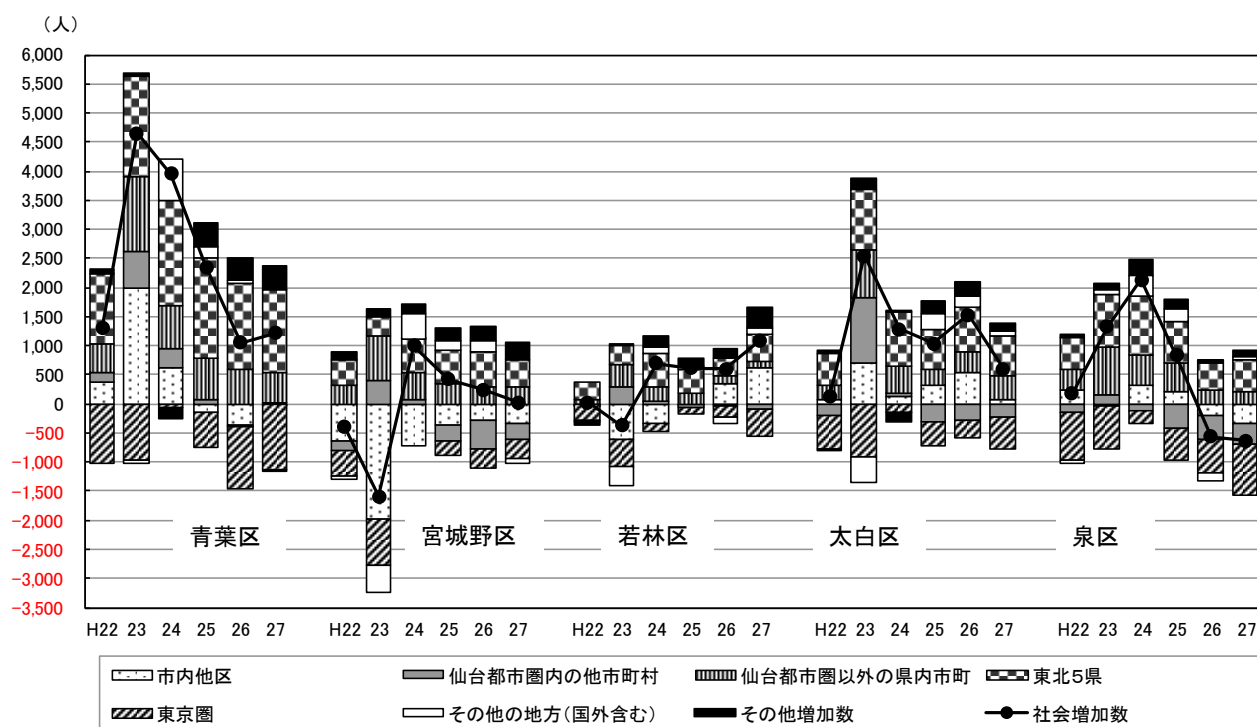


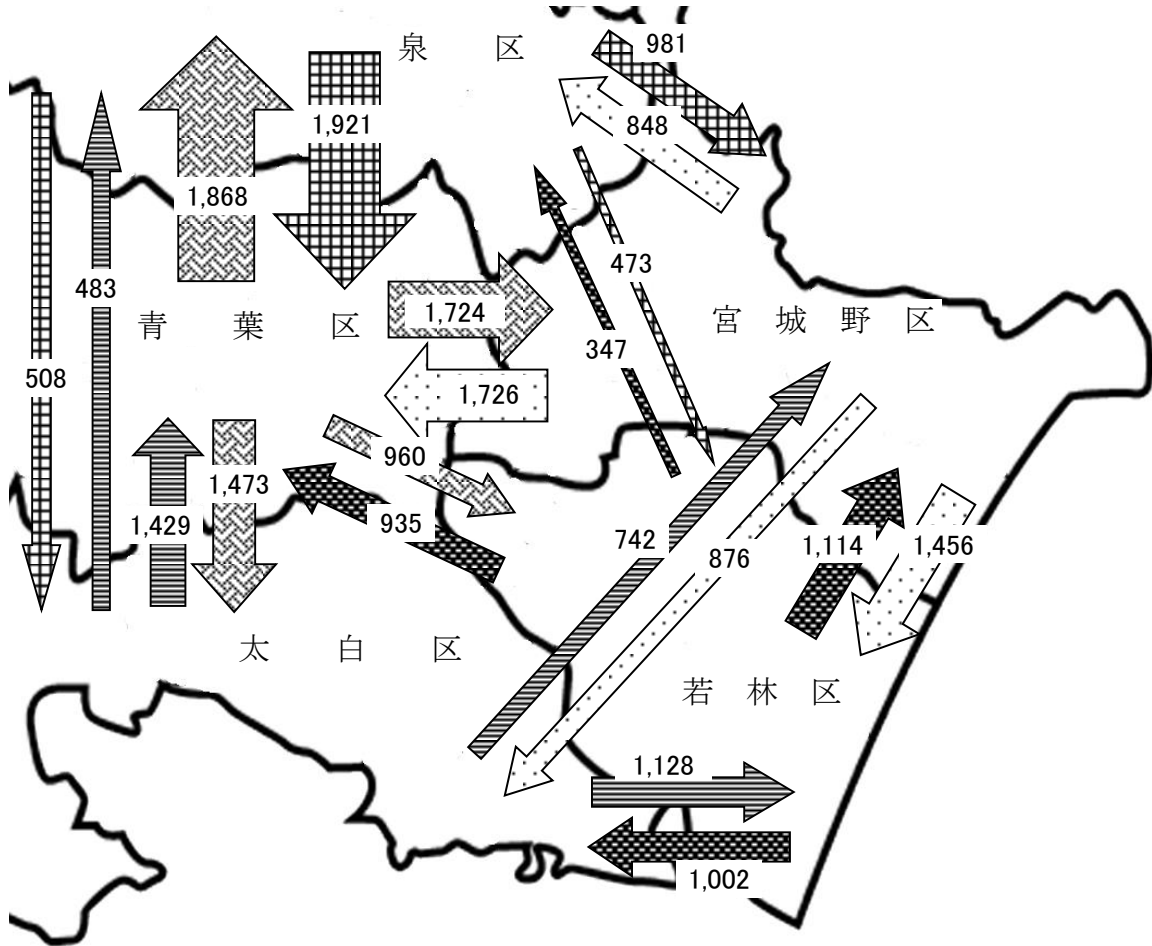
表3 社会増加数の地域別内訳一区（平成22年～27年）

（単位：人）

区,年次	社会 増加数	市内 他区	宮城県		東北 5県	東京圏	その他の 地方 (国外含む)	その他 増加数	
			仙台都市 圏内の 他市町村	仙台都市 圏以外の 市町					
青葉区									
平成22年	1,303	369	666	172	494	1,198	△ 1,028	0	98
23	4,654	1,983	1,911	639	1,272	1,724	△ 974	△ 58	68
24	3,953	628	1,059	329	730	1,797	△ 75	715	△ 171
25	2,356	△ 133	776	84	692	1,742	△ 611	173	409
26	1,055	△ 374	589	△ 11	600	1,467	△ 1,077	70	380
27	1,211	△ 9	537	30	507	1,415	△ 1,125	△ 17	410
宮城野区									
平成22年	△ 399	△ 635	157	△ 167	324	438	△ 436	△ 60	137
23	△ 1,594	△ 1,981	1,168	402	766	333	△ 789	△ 465	140
24	995	△ 720	534	78	456	569	13	427	172
25	423	△ 368	70	△ 271	341	587	△ 249	157	226
26	243	△ 280	△ 193	△ 484	291	615	△ 337	168	270
27	28	△ 344	32	△ 254	286	483	△ 350	△ 82	289
若林区									
平成22年	30	△ 2	70	△ 12	82	303	△ 259	△ 31	△ 51
23	△ 376	△ 624	683	286	397	313	△ 465	△ 329	46
24	689	△ 337	292	32	260	562	△ 143	120	195
25	618	△ 4	132	△ 57	189	406	△ 112	53	143
26	604	333	95	△ 45	140	315	△ 183	△ 106	150
27	1,092	621	28	△ 90	118	462	△ 466	94	353
太白区									
平成22年	118	62	50	△ 204	254	542	△ 565	△ 43	72
23	2,537	700	1,934	1,127	807	1,055	△ 913	△ 436	197
24	1,285	133	507	54	453	933	△ 135	35	△ 188
25	1,042	306	△ 28	△ 308	280	683	△ 417	279	219
26	1,527	534	75	△ 287	362	778	△ 291	190	241
27	605	77	172	△ 242	414	688	△ 530	65	133
泉区									
平成22年	180	234	218	△ 133	351	564	△ 833	△ 60	57
23	1,319	△ 44	964	146	818	910	△ 719	84	124
24	2,135	307	418	△ 120	538	1,011	△ 224	350	273
25	826	212	65	△ 422	487	727	△ 548	212	158
26	△ 560	△ 209	△ 161	△ 389	228	474	△ 594	△ 136	66
27	△ 639	△ 337	△ 149	△ 356	207	556	△ 868	46	113

※「その他増加数」には職権記載・消除、国籍取得・喪失等が含まれています。

図 1 3 区間人口移動（平成 27 年 転入ベース）



転入ベースで区間相互における人口移動をみると、最も人口移動が多いのは、青葉・泉区間で 3,789 人（=1,921 人+1,868 人）となっています。逆に最も人口移動が少ないのは、若林・泉区間で 820 人（=347 人+473 人）となっています。（図 1 3）

転入・転出の差し引きによる、区別の対市内各区社会増減をみると、青葉区は若林区、太白区に対して転出超過で、全体では 9 人の転出超過となっています。宮城野区は泉区を除く 3 区に対して転出超過で、全体で 344 人の転出超過となっています。若林区は全ての区に対して転入超過で、全体では 621 人の転入超過となっています。太白区は若林区を除く 3 区に対して転入超過で、全体では 77 人の転入超過となっています。泉区は全ての区に対して転出超過で、全体では 337 人の転出超過となっています。また、相互間の移動数に最も差があるのは宮城野・若林区間の移動で、若林区は 342 人（=1,456 人-1,114 人）の転入超過となっています。

（表 3、統計表第 4 表）